

越後駒「勝手にグランドスラム」達成！

## 越後駒ヶ岳 佐梨川 大チョーナ沢

飯田

【日時】 2011年10月9日(日)～10日(月)

【メンバー】L飯田 大野 佐貫

越後駒「勝手にグランドスラム」とは、越後駒をめぐる5つの沢で、水無川の「北沢」「モチガハナ沢スラブ沢」「オツルミズ沢」北ノ又川の「滝ハナ沢」そして今回行った佐梨川の「大チョーナ沢」である。

「芝沢右俣は入らないのか?」「なんで桑の木沢が入らないんだ」との意見を聞くが、あくまで「勝手に」グランドスラムだからこの5つの沢でいいんです!

お付き合いしてくれたのは、本来なら下田川内に行っているはずの佐貫さんと大野さん。

道の駅「ゆのたに」で仮眠後、駒の湯の駐車場に大野車を止めて出発。

出合は意外と小さく、ちょっと進むとゴルジュ状になるが、残置ロープなどもあり問題なく通過できる。



(ネジレの滝)

1時間強でネジレの滝。ちょっと手前から右岸側を高巻き、懸垂で下のバンドに下りてロープを付けたままトラバースする。

その後も滝が続くが、「登れそうな滝はできるだけ登り」、「登れない滝はできるだけ小さく巻く」という、あたりまえのことをあたりまえのようにこなして行く。

(スママセン、かなり記憶があやふやなんです...)

正午には2段50m滝の小倉沢出合に着いた。トマで最初に大チョーナを遡行したTさんが、「小倉沢をエスケープルートに加えて反省した」と書いていたが、確かにこれはきつい。6m滝を左岸から巻き、数個の小滝を越えると2段25m滝。左岸側の草付きを高巻き、2時間ほど進むと陰悪な右俣が現れる。



(とっても険悪そうな右俣)

小倉沢にしても、右俣にしても、支流はとんでもなく難しそうで、三人で「大チョーナって、本流が一番易しいんじゃない？」と意見が一致する。

右俣を過ぎると20m滝。右岸の草付きを高巻いたがちょっといやらしい。

次の5m、10m滝を左岸から高巻き終わったところの右岸に素晴らしい天場があり、時間も丁度良いので幕とする。(トマの記録を読むと、みんな、ここで泊まってますね)流木も乾いていて、しっかりした焚き火の中、お酒を飲みながら、山の端から、だんだんと姿を見せてくる十三夜の月に、「地球って、ちゃんと回っているんだなあ」と実感する。



翌10日、いきなり全員寝坊して、予定より約30分遅れで出発。

天場から最初に出てくる小滝がいやらしく、右岸から行けそうなのだが一歩が出ない。仕方なく投げ縄&シャワーで行くしかないかと、全員いそいそと雨具を着始めていると、いち早く準備のできた大野さんがトライ。

スタンスが無いらしく、かなり苦勞して登り切った。それを見ていた私と佐貫さんは「大野さん、スミマセン。左の岩の上からお助け垂らしてくれます？」とお願いし、全く濡れることなく通過することができたが、大野さんは、その後しばらく震えが止まらなかった。(大野さん、その節はありがとうございました...)

(大野さんがどこにいるか判ります?)

この小滝を越えると、長い巨岩帯歩きが続く。その中の3段25m滝は左岸から高巻き、唯一残っていた雪渓をくぐると、最後の40m大滝。「大滝は登るな」の教えに従い右岸のルンゼから草付きを高巻く。

大滝を越えると困難な場所も無く(ヌメヌメの滝はあったが) 12時半に稜線に出て、握手を交わし大野さんが隠し?持っていたプレミアムビールで乾杯し、晴天と紅葉の素晴らしいコントラストの中、駒の湯へと下り無事山行を終えることができた。



【グレード】4級

【行程】10/9 出合(7:30)～小倉沢出合(12:05)～二俣(14:00)～BP(14:50)

10/10 BP(6:50)～40m大滝(10:05)～稜線(12:30/50)～駒の湯(15:40)

【地図】八海山

「越後駒ヶ岳 勝手にグランドスラム」の思い出

1998年 水無川・北沢（飯田・柴田・関口）

雪渓が全く無い北沢を遡行することが出来た。

まだ経験も浅かったので、非常に緊張した沢だった。

出発当日まで柴田さんが中東に出張で、ホントに帰国するのか？と焦った。

2001年 水無川・オツルミズ沢（田邊・飯田・石井）

当時、小学生だった長女の運動会をサボって行った沢。

ヘルメット以外の登攀用具全てを忘れしまい、二人から借りたスリングで作った簡易ハーネスのため、リードもビレイもできず、二人に頼りっぱなしの山行でした。

2008年 水無川・モチガハナ沢スラブ沢（飯田・田邊・棚橋）

晴天の紅葉の中楽しく遡行が出来た。

出合までちょっと悪い所があるが、スラブ沢自体は快適な超オススメの沢。

2009年 北ノ又川・滝ハナ沢（飯田・石井・小暮・大田原・田邊・手嶋・栗原）

北沢と滝ハナ沢に別れて越後駒で集中の予定だったが、朝方の雨のため北沢が中止になり7人で登った。

雪渓の状態が悪く、人数も多かったので時間がかかった。

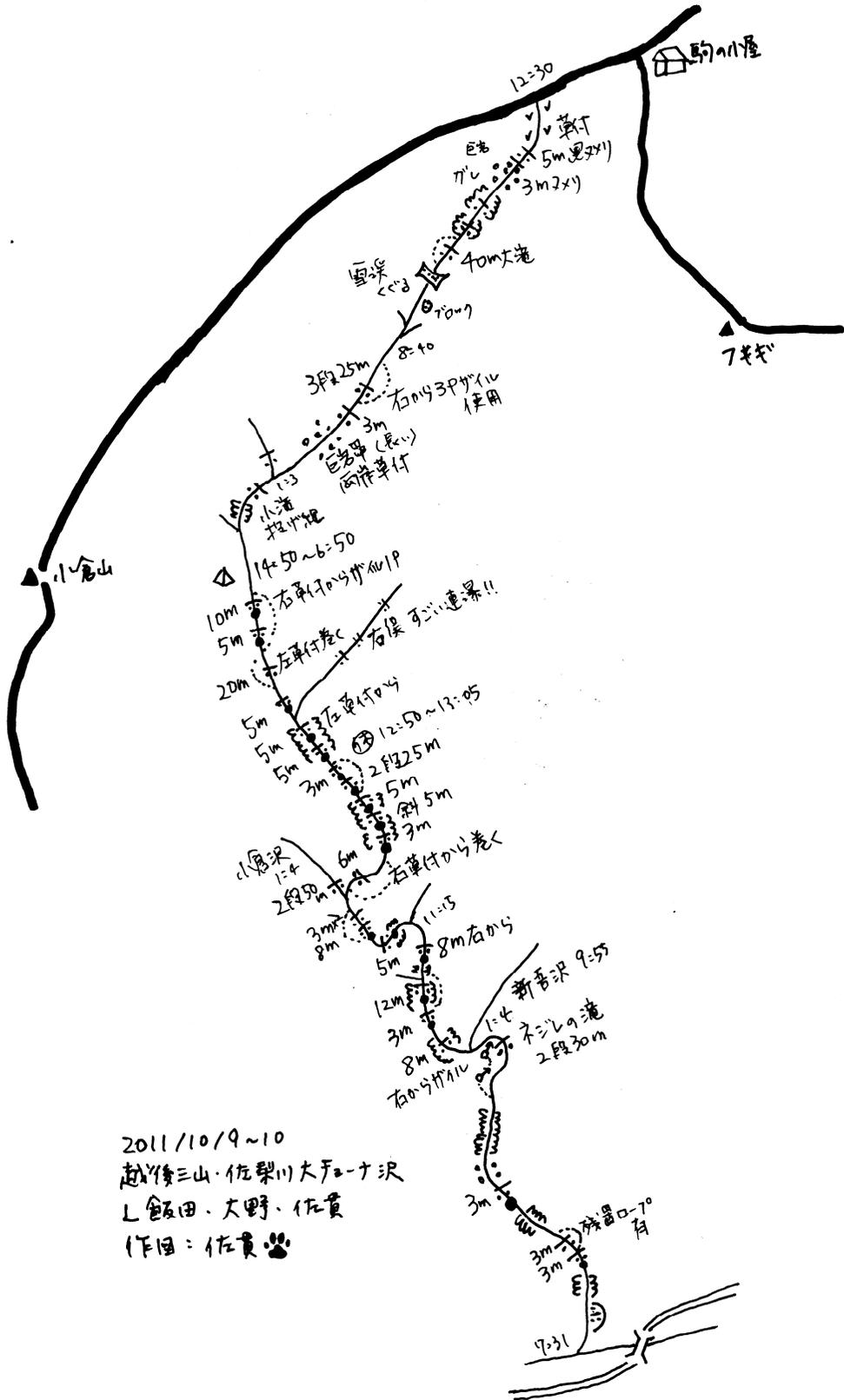
2011年 佐梨川・大チョーナ沢（飯田・大野・佐貫）

フィナーレを飾るにふさわしい晴天の中登ることができた。

また、越後夫人の佐貫さん、佐梨川グランドスラムを目指している？大野さんとこちらもフィナーレを飾るにふさわしいメンバーと遡行することができた。

お付き合いしてくれたみなさん、ありがとうございました。

次の「○○ 勝手にグランドスラム」設定の折には、また、よろしくお願いします。



2011/10/9~10  
 越後三山・佐梨川大戸一十沢  
 L 倉友田・大野・佐貴  
 作図：佐貴🐾